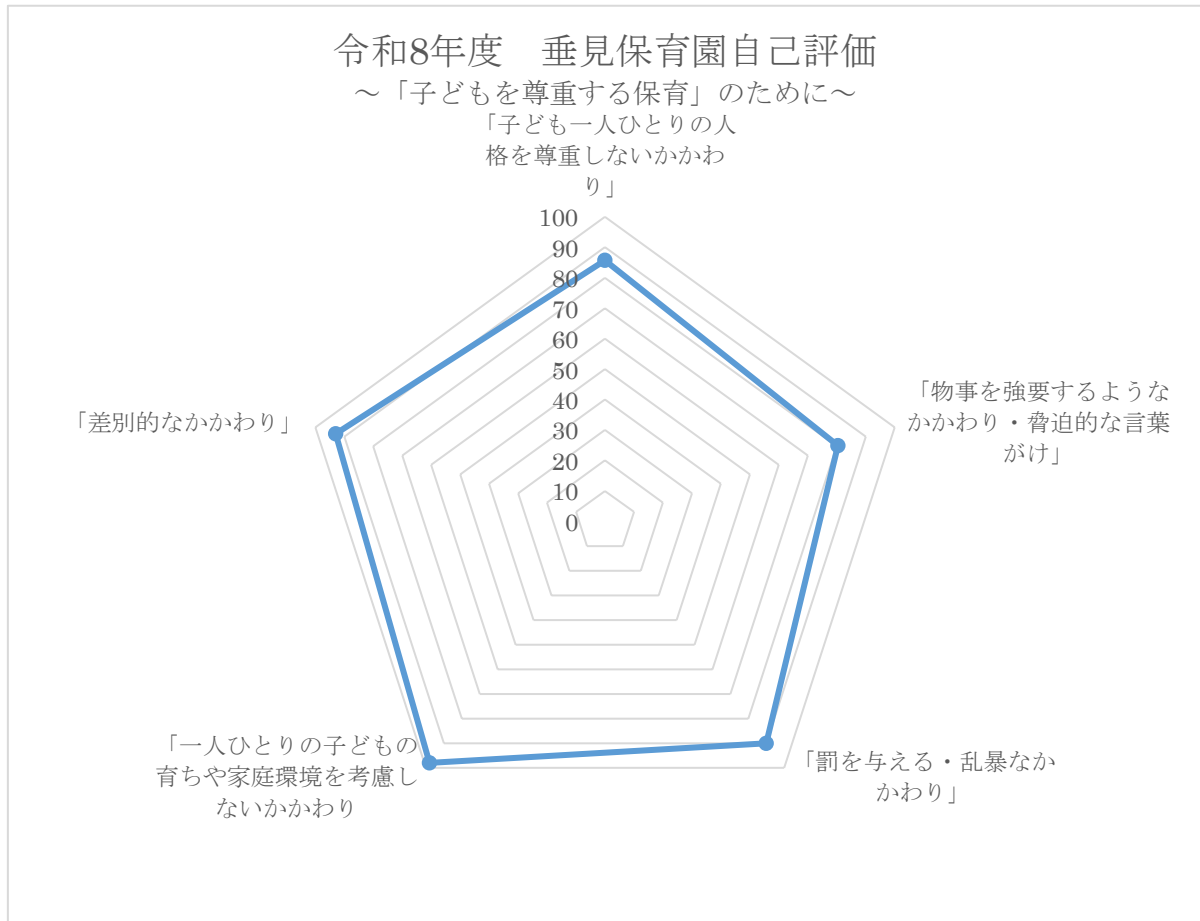


令和8年度 垂見保育園自己評価

～「子どもを尊重する保育」のために～

【レーダチャート】

* 輪の大きさが大きいほど、「良いかわり」が達成できています(%)



【園長所見】

自己評価を通して、一人ひとりが日々の保育を振り返り、子どもの思いや気持ちに寄り添った丁寧な言葉掛けや関わりについて、改めて意識する姿勢が見られました。今回の結果を今後の保育に生かし、子どもたちが安心して自分らしく過ごせる環境づくりに努めてほしいと思います。

これからも職員同士で学び合い、互いに保育を振り返りながら、一人ひとりの子どもの人格を尊重した保育の実践と、さらなる保育の質の向上につなげていくこと期待しています。

園長 大橋真一